

山田みやこの活動報告

平成30年8月30日(木)

文教警察常任委員会 県外調査

①京都府警察本部 通信指令システムの概要について調査

通信指令センターは46名体制で3交代制。一日当たり730件(有効件数625件)

今年3月から6年のリース(8億2,000万円)で新たなシステムを導入。犯罪・災害時有効な画像が送受信できる。

パトカーなど捜査車両219台に全方位を撮影できるビデオカメラを設置し、映像を生中継できるシステムの運用を始めた。府警察本部通信指令センターや各警察署にリアルタイムで配信すること捜査の効率化につながる。

今回のシステム更新に合わせ、捜査車両にはカーナビ機能を兼ねたタブレット端末も配備。地図上に表示する「予測型犯罪防御システム」を活用し、犯人の早期検挙や未然防止に活かす。

本県は平成33年度に更新される予定。AIの進歩もめざましい中、財政状況をふまえ捜査の効率化に向けて導入を期待する。

隣接する旧京都府庁の見学も行った。本来の旧庁舎によく似た建物である。

案内ボランティアの説明を受けた。



平成30年8月31日(金)

②滋賀県立設楽高等学校を調査

滋賀県立設楽高等学校は平成24年の高等学校再編計画の中で、分校化の計画があったが魅力と活力ある学校づくりに向けて、1学年2学級80名の総合学科の高校として存続されることになった。

内容としては、普通科・セラミック科・デザイン科の3系列。

県外から1学年5名の入学生を募集する(アート留学)アート留学生は宿舎を用意し、費用は設楽高等学校地域支援協議会から全額補助65,000円/月。

設楽高等学校を地元の各種団体が構成する支援団体として地域支援協議会を立ち上げ、大きな支援をしている。

しかし、1学年80名を充足するのは厳しい状況。5年を目途に再編の評価を行い、様子を見る。

息の長い支援が必要で、高校卒業→大学進学→地元へ戻るには長い年月がかかる。地元、信楽焼の窯元では1名しかこの設楽高校に入学していないところが切実である。

何とか地域資源を活かしながら伝統工芸の維持に努めて行ってほしい。これは全国どこでも言えることだ。



信楽高校は
「信楽で陶芸やデザインを学びたい！」という熱意あふれる生徒を全国から募集しています。

信楽高等学校は、平成26年度より総合学科として改編されました。改編以前より現在まで地元信楽町の皆様には、「信楽高校を守る会」、「信楽高校を育てる会」の活動等ご支援を頂きありがとうございます。

さて、信楽高等学校では、総合学科改編に伴い平成26年度入学生より「アート留学」と名付け、滋賀県で初めての全国募集枠(定員5名)での生徒を受け入れています。今年3月にその2期生3名が卒業し、4月には新たに2名を迎えました。現在、1年2名、2年2名3年2名の計6名が「アート留学」全国募集枠生徒として信楽高等学校で学んでいます。

希望者には宿舎(朝食付き・光熱費込み)があります。宿舎費等は信楽高等学校地域支援協議会から補助されます。

セラミック系列
信楽焼の技術や知識を習得することで、その伝統技術を受け継ぎ地域産業に貢献できるスペシャリストとアートの分野で活躍する幅広い人材の育成を目指します。

デザイン系列
イマジネーション(感受性・想像力・センス)・コミュニケーション(表現・受容・相互理解)・アクション(計画性・技術・持続力)の能力を造形表現活動で養い、デザイン・芸術分野のスペシャリストの育成を目指します。

信楽高等学校地域支援協議会
※信楽高等学校地域支援協議会は、信楽高等学校を魅力と活力のある学校にするために設立した、地元の各種団体が構成する支援団体です。

お問い合わせは
▲滋賀県立信楽高等学校
〒529-1851 滋賀県甲賀市長野317-1
TEL 0748-82-0167

信楽高校総合学科

